

## 令和2年度第2回栗東市立図書館協議会(書面開催)結果

通知発送日 令和3年2月17日

回答期限 令和3年3月3日

回答委員 國松完二、吉川なおみ、竹橋貴美子、井上明美、井上和子、宗本和子、大屋邦代  
山元貴弘、鈴木由希子、伊丹桜子

### 協議結果

#### 1、令和3年度図書館運営及び事業計画(案)について

##### 【委員意見】

○令和3年度は、まだまだコロナの感染拡大に注意を払いながらの運営が必要かと思えます。「1、基本的運営方針」「2、図書館サービス」の項に、コロナ対応に関わる文言を入れてはどうでしょう。

○市の財政状況が厳しい中で、協議会の開催回数が3回に増やせたことはよかったと思えます。

令和3年度限りではなく、令和4年度以降も年3回開催は維持できることを期待します。

##### 【事務局回答】

年度の「図書館運営及び事業計画」の「1」「2」については、「栗東市立図書館基本的運営方針」からの転記とさせていただきます。今年度は案の通りの記載とし、ご指摘の内容につきましては、令和4年度より、第二次「栗東市立図書館基本的運営方針」が開始されるのにあわせて検討させていただきたく思います。

#### 2、第二次「栗東市立図書館基本的運営方針」の策定予定と構成(案)について

##### 【委員意見】

○スケジュール的には相当タイトな印象です。目次の項目はこれでよいと思えますが、コロナがある程度落ち着いて以降の5年間の計画ということなので、図書館とコロナという観点についても計画のなかに盛り込む必要があるのではないかと考えています。

○コロナ関連では、これまで図書館内でのクラスター発生は全国的にも起こっていませんが、それでも非接触型の図書館利用を推奨する論調が強まっています。栗東も含め滋賀の図書館は、図書館資料と利用者が直接触れ合うことで市民にさまざまな情報を入手してもらう。それを結びつけるために司書の役割があり、司書が必要なんだという考えに基づいて仕事をしてきましたが、AIや電子化をもっと活用すれば、直接図書館資料に触れなくても入手できるじゃないか、という考えは着実に広まってきています。

急速な資料の電子化を志向する考え方は、そういう電子化技術を豊富に持っている民間のほうが図書館運営に適しているといった指定管理導入論も年々強まってくると思えます。

ほんとうに、市民一人ひとりが確実に必要な資料や情報を得るためには、どのような図書館を目指すのか。将来に対する栗東市立図書館の強い意志のようなものが次の計画に盛り込めるといいと考えています。

○「第4章 目標設定と評価」について、目標設定の数値化は必要なことではありますが、本をめぐる媒体の変化、ライフスタイルの変化はめまぐるしく、過去の数値などはもはや参考になりません。この中で目標を上向きに設定するのはかなり難しいと思います。

現在の箱(施設、予算、職員数)の状態では、利用者数を維持するだけでも大きな成果になると思います。栗東図書館だけでなく、他市町村の図書館の最近の実情も考えあわせて目標設定できるといいと思います。

○1月にパブリックコメントを求められますが、普段から図書館運営について「目安箱」のような簡単に意見を募るような投書箱を置くのはどうでしょうか。批判ではなく、図書館を盛り立てていくような、本を愛する人の声が聞きたい。

#### 【事務局回答】

策定スケジュール・構成ともに、案の通りに進めさせていただきたいと思います。

具体的な内容の検討は次年度になりますが、皆様のご意見を十分に伺いながら、策定を進めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

また、通常時の投書箱につきまして、現在も設置はしているのですが、意見の投函される頻度は高くない状態であり、設置方法・運用など検討してまいりたいと思います。

### 3、その他

①「令和元年度栗東市立図書館基本的運営方針に定める評価一覧」について

#### 【委員意見】

○計画途中の年度評価なので大きく変更ができないこともあり、令和元年度評価はこれでよいと思います。

令和2年度(4年目)の評価については年度が変われば令和2年度実績が出てくるので、早目に取り組みましょう。

○外部評価・意見が加わったことは良かったと思います。

○図書館として大事な目標項目である1、2、3、4、5が年々下がり続けているのが寂しい限りです。どうすれば図書館に足を運んでくれるのだろうかと思います。

#### 【事務局回答】

案の通りで確定とし、公開させていただきます。

ご意見の通り、貸出冊数・利用人数等は厳しい状況が続いておりますが、市民の皆様に図書館の存在や本の良さなどが伝わるよう、広報や魅力ある蔵書の構築、各種事業などに取り組んでいきたいと思っております。皆様のご協力をお願いいたします。

## ②その他図書館運営全般について

### 【委員意見】

○毎年「運営方針及び事業計画」の書き方について、単年度というより中期的な計画を列挙している印象で、タイトルと本文の記述が合っていないように感じます。他館の事業計画の公表の仕方などもリサーチして、形式などを検討してもいいのではないかと思います。

○令和3年度はほとんどの自治体でコロナ対策経費が増大するなかで、図書購入費が現状維持できたことはよかったですと思いますが、あと5,000千円あれば、年間15,000冊近く購入できます。「新しい本が増えた」と利用者が思える、このことが一番のインパクトになります。国が出せなければ、県で出してもらうとか、何か取組みが必要かと思えます。また、他の図書館がどのような補助金や助成金を図書購入費に取り込んでいるか、常にリサーチして、栗東でも取りに行けるものあればいつでも対応できる体制を取っておく必要があると思います。

○先日、古い本を調べた折に、国会図書館の資料の遠隔サービスを栗東図書館で受けられることを知りました。利用する人は少ないとは思いますが、こんなサービスがあることを掲示や広報などでアピールしてもいいのではと思いました。

○今年度はコロナ禍での運営で、イベント等も思うようにできず、大変だったことと思います。また、司書の方には、学校図書館の運営を助けていただき、ありがたく思っています。

○コロナ禍でイベントなどもやりにくく、図書館も運営に工夫が必要になるかと思えます。例えば、栗東市のHPにリンクをつけて、めるへんさんのおはなし会をYouTubeで視聴できるようにしたり、図書館職員さんの「今月の絵本の紹介」として、いつも行っているおはなし会を視聴できるようにするなど、何か外に向けて発信することで、コロナ収束後には足を運んで生で聞いてみたい、紹介された本を借りてみよう、など思う方もいらっしゃるかもしれません。

○最近のニュースで、「福島の図書館 震度6強の2日後に開館、東日本大震災の経験を生かす」というのがありました。ネット記事で見ることができるので、地震対策に参考になるのではないのでしょうか。

○テレビのセブンルールで、六本木の本屋「文喫」で働く女性が紹介されていました。3万冊の本があるのですが、確か一冊として同じ本はなく、本の置き方もある話題を深掘りできるようになっていて、興味がわきました。店に置く本で迷った時にはネットで検索して評価を見て選ぶなどされていて、本選択のご苦労がしのばれました。入場料1,650円で何時間も過ごす方や、飲食を楽しんだりもしていました。

○いつも元委員の石田さんから図書館関係の記事提供があるのはたいへんありがたいと思います。

若い職員のみなさんには、同じ図書館の記事でも新聞によってかなり論調が違うということを知ってほしいと思っています。これは、新聞自体の党派性とは関係なく、各新聞社、特に文化部や社会部という部署の取材に関する伝統のようなものがわりと色濃く出ています。

○子どもは絵本を読んでもらうのが大好きです。好きな絵本は何度も繰り返し見て絵本がボロボロになることも少なくありません。図書館の貸出図書では、字の書いている絵本を選ぶのではなく、自分で読んだり見たりでき

る図鑑や、擬音のみが書いてある絵本を借りていることが多いです。読んでほしい時に読んでもらえないからかな…と推測しています。私も子どもが小さい時には仕事も家事もいそがしく、ゆっくり子どもと向き合う時間がとれなかったのが事実です。絵本の良さを伝えてもなかなか理解してもらえないのが現状です。大人を本（絵本）に向かせるにはどうすれば良いか日々悩んでいます。

**【事務局】**

様々なご意見や情報提供をありがとうございます。社会情勢、市の財政状況など、厳しいことも多々ございますが、本や図書館を必要とする方にその情報を確実に届けられるよう、子どもたちやご家庭に本の良さを伝えられるよう、また、安全・安心に図書館をご利用いただけるよう、いただいたご意見も参考に、できる限りの工夫をしながら、より良いサービスに努めてまいります。

4、令和3年度第一回図書館協議会の開催について

**【事務局】**

皆様のご都合がそろう日がございましたが、日程を移動するのが難しいため、一番多くの方がご参加いただける 6月19日(土)10:00～12:00 で実施させていただきたいと思っております。

ご都合の合わない方には、大変申し訳ございませんが、どうぞよろしくお願いいたします。